

# 地球温暖化・エネルギー関係での経済産業省と国土交通省の連携強化に向けた中間とりまとめ

平成21年12月  
経済産業省  
国土交通省

## 自動車交通部門

### ● 自動車単体対策（更なる新車燃費向上、環境対応車の普及）

<連携項目>

- 新たな燃費基準の策定
- エコカー補助金、環境対応車普及のための補助金（CEV補助金、低公害車普及促進等対策費補助金）の予算確保、円滑な執行

#### 【短期的取組】

- ・エコカー補助金（平成21年度2次補正）、CEV補助金、低公害車普及促進等対策費補助金（平成22年度予算）の確保

#### 【中長期的取組】

- ・乗用車燃費について、来春を目途に、現状等を整理し、2020年に向けた新たな燃費基準に関し、有識者を交えた検討を開始（平成23年春頃を目途にとりまとめ）

### ● 周辺環境の整備（地域取組・まちづくり促進、統合的アプローチ推進）

<連携項目>

- 次世代自動車のためのインフラ整備に関する課題の抽出、地域の取組も含めた対応の促進
- 統合的アプローチの推進に向けた協力の継続

#### 【短期的取組】

- ・充電施設、CNGスタンド等の設置に対する補助金（平成22年度予算）の確保、着実な整備の推進・支援
- ・充電施設の効果的な整備、位置情報提供の着実な促進等のための実証事業の実施
- ・電気自動車等の普及に向けた地域の取組・インフラ整備等に関する有機的な連携、情報の共有

両省の関連事業の連携実施、情報共有などを通じ、①環境対応車の導入にむけた地域単位の取組み支援、②電気自動車、電動バス等の初期需要の創出、③パーソナルモビリティや環境対応車を活用したまちづくりに向けた課題の整理、具体的方法論の確立等

**【中長期的取組】**

- ・地域における充電施設、課金システム等インフラ整備等に関する実証事業について、連携して実施、課題を共有
- ・次世代自動車のためのインフラ整備の検討・着実な実施
- ・温暖化対策に係る政府全体議論を踏まえ、自動車交通分野に係る様々な協力  
政府全体議論を踏まえ、エコドライブの普及、LCA 評価を踏まえたバイオ燃料の普及、ITS等を活用した交通流対策などの分野における地球温暖化対策を連携して推進

**物流部門****● グリーン物流パートナーシップ会議の取組みの拡充**

## &lt;連携項目&gt;

- モーダルシフト等推進官民検討会(仮称)を設置

**【短期的取組】**

- ・現状における最大限の鉄道・海運の利用促進等に向けた課題整理、課題解決策の検討
- ・モーダルシフト等の取組みの現状を分析するためのデータの入手方策(省エネ法データの提出を自主的に促す等)の検討

**【中長期的取組】**

- ・モーダルシフト等を促す関係者へのインセンティブ等の検討
- ・モーダルシフト等に向けた関係者の自主的な目標設定や行動計画の策定
- ・将来に向けたインフラ整備の検討

**● 省エネ法の活用の検討**

## &lt;連携項目&gt;

- 両省の省エネ法(物流部門)関連部局からなる連絡会を設置

**【短期的取組】**

- ・省エネ法に基づくデータに係る分析

**【中長期的取組】**

- ・省エネ法の下での取組みの強化の検討

**民生部門****● 住宅・建築物の省エネ化の一層の普及促進・基準強化**

## &lt;連携項目&gt;

## ○住宅

## 【短期的取組】

- ・住宅版エコポイントの活用による省エネ化の推進  
→「明日の安心と成長のための緊急経済対策」（平成21年12月8日）に盛り込み  
→エコ住宅の建設、エコ住宅へのリフォームに対して住宅版エコポイントを発行する制度を創設
- ・その他、下記の規制強化とパッケージとした、予算上の支援、税制上のインセンティブなどの強化
- ・省エネ法の執行強化  
→新築住宅における平成11年基準の達成率の向上

## 【中長期的取組】

- ・断熱のみならず、設備（高効率給湯器、照明、太陽光発電等）も含めた住戸全体のエネルギー消費の基準の検討
- ・住宅のネット・ゼロ・エネルギー化に向けたビジョンの打ち出し

## &lt;連携項目&gt;

## ○建築物

## 【短期的取組】

- ・現行の平成11年基準を強化した新基準の検討  
→両省共同の検討委員会を来年早々に設置し、建築物全体でのエネルギー消費量を総合化した基準の策定を行い、2年後の施行に向けて周知徹底等を実施
- ・上記の規制強化とパッケージとした、予算、税制上のインセンティブなどの強化

## 【中長期的取組】

- ・建築物のネット・ゼロ・エネルギー化に向けたビジョンの打ち出し
- ・建築物の省エネ性能の「見える化」、不動産価値への反映を図るため、ビルの省エネ性能を評価するラベリング制度の検討

## 建設部門

## ● ハイブリッド建設機械等の普及

## 【短期的取組】

- ・業界団体において検討中の「建設機械の燃費改善技術の確認の為に試験方法規格（日本建設機械化協会規格（JCMAS）」を踏まえた、ハイブリッド建設機械等の燃費に関する技術基準の策定
- ・建設部門におけるCO2排出削減目標に対し、機械の普及や施工法の改善による削減計画の設定

- ・ハイブリッド建設機械等の CO2排出削減効果の試算
- ・CO2排出削減効果の試算を踏まえ、ハイブリッド建設機械等の普及促進を図るため、導入促進補助金・税制などの支援策や公共工事への導入促進策を検討

**【中長期的取組】**

- ・平成23年度以降において、普及状況の把握と必要に応じて講じた施策の見直し

**エコタウン・スマートコミュニティ部門****● 市街地整備と一体となったエネルギーの面的な利用の促進****<連携項目>**

- 低炭素都市づくりに向け、「エネルギーの面的な利用」を促進するため、関連施策の連携を図り、必要に応じ支援制度等のあり方を検討

**【短期的取組】**

- ・市街地整備等と一体的にエネルギーの面的な利用を実現する意義・効果の再確認
- ・エネルギーの面的な融通を行う事業性の確保の観点から以下の課題認識を共有
  - ・地区のエネルギーの需要と供給のバランスをいかに図っていくか
  - ・エネルギーの融通のための管路敷設費用等の低減をいかに図っていくか
- ・上記の認識を踏まえつつ、具体的な推進施策を検討  
例えば、エネルギーの面的な利用に係る施設（エネルギーの融通のための管路等）に関する、効率的な計画・設置手法、計画の公的な位置づけのあり方、計画策定及び整備に関する支援等

**● 下水道における革新的な温室効果ガス削減技術の実用化・普及の加速****<連携項目>**

- 下水道バイオガス等活用技術の実用化・普及の加速

下水道バイオガスの有効活用等を通じた温室効果ガス削減を加速するため、以下の取組を実施。

**【短期的取組】**

- ・下水道バイオガスの都市ガス導管直接注入事業等のバイオガス利用促進に向け、実証調査や活用事例等の情報共有などを通じ、導入を促進するための検討実施
- ・下水汚泥の高効率バイオガス化等に適用可能な新技術の開発及び新技術を用いた実証の実施に向けた検討

## 【中長期的取組】

- ・下水道バイオガスの都市ガス導管直接注入事業の本格実施、成果の普及
- ・下水汚泥の高効率バイオガス化等に適用可能な新技術の開発、実証、評価、導入加速のためのガイドライン化

## &lt;連携項目&gt;

## ○下水熱を活用した次世代型ヒートポンプの実用化・普及の加速

都市内に面的に存在する下水熱の活用による温室効果ガス削減を加速するため、以下の取組を実施

## 【短期的取組】

- ・地域冷暖房及び個別建物空調への下水熱活用推進に向けた方策検討（手続きの明確化等）
- ・下水熱を活用した低コスト・高効率の次世代型ヒートポンプシステムの開発に向けた検討

## &lt;連携項目&gt;

## ○省エネ型膜分離活性汚泥法（MBR）技術の普及加速

今後、下水処理場への導入が期待される膜分離活性汚泥法（MBR）の省エネ化を加速するため、以下の取組を実施

## 【短期的取組】

- ・MBRについて、最大の課題である曝気<sup>ほつき</sup>エネルギーの50%以上削減を目指す省エネ型MBRの技術開発を推進し、平成23年度までには試作システムを開発

## 【中長期的取組】

- ・省エネ型MBRの実際の下水処理場における研究開発段階からの実証及び評価
- ・省エネ型MBRの下水処理場への全国展開に向けたガイドラインを整備し、地方公共団体へ周知・導入促進

※ 以上の内容も含め、新たな成長戦略に盛り込むべき事項については別途検討する